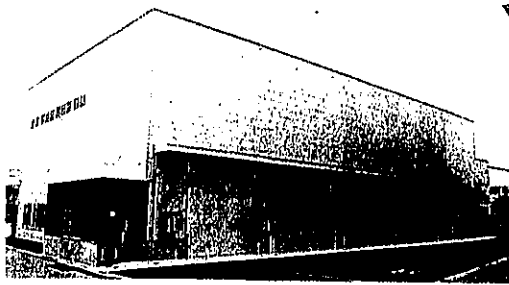


# 国内最大級のめっき槽

## ユニゾン 来月導入、新工場稼働

めっき加工のユニゾン(富山市)は6月、同市綾田1丁目で、均等な厚さの膜処理が数ミクロン単位でできる無電解ニッケルめっきの加工工場「写真II」を稼働させる。約8億円



をかけた国内最大級の容量約4万リットのめっき槽を導入、環境エネルギー関連の大型製造装置の受注拡大を図る。人体や環境に有害とされる鉛を使わずにめっき処理ができるため、有害化学物質の電気・電子機器への使用を禁止している欧州向け製品の加工にも対応している。

2009年に稼働した工場に比べ、容量は倍になり、対応できる製品重量も倍の約9・

6トになった。より大型の製品を加工でき、太陽光、風力発電設備の製造装置や、医療・航空機など先端産業関連の受注にも応じられる。北信越地区を中心

に販路拡大を進め、19日に金沢市の石川県産業展示館で開幕するMEX金沢2011(機械工業見本市)でも機能を紹介する。梅田ひる美社長は「震災はあったが計画停止は考えなかった。被害を受けなかった地域が頑張っって経済を動かさないといけない」と話した。